

Broad Band Antenna WA200 シリーズ・T2FD型アンテナ

280W
High Power



WA200シリーズ
ハイパワータイプの5つの特長

1.ハイパワー PEP 280W 仕様！

- 抵抗体部ではケースの上下に穴を空けた対流放熱方式を採用することにより小型で高耐電力を実現。
- ケースには堅牢で耐熱性に優れたFRPを使用。
- 高耐電力バランの開発！
従来むづかしいとされていたT2FD用ハイレシオバランでガラス強化ABS、大型コア、高耐圧構造などにより高耐電力化を実現。

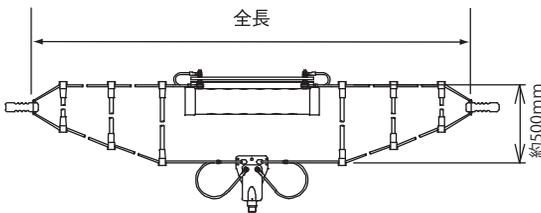
2.HF帯フルバンド対応！（1.8MHzから使用可能）

- WA200シリーズは非常に広い連続した帯域にわたり、送受信可能な広帯域折り返しダイポールアンテナです。

3.組立済み・調整不要！

4.全機種に絶縁ロープ・自己融着テープ付属！

5.安定したSWR！（全帯域約2以下）



WA200シリーズ・T2FD型アンテナとは？

一般的なアンテナは定在波型アンテナと呼ばれ、アンテナエレメントに給電される進行波と、先端で反射して戻る反射波により生ずる定在波を利用し共振させ効率的に電波を放射します。しかし周波数帯域は狭く共振周波数の5%程度しかありません。これは共振周波数を外れると進行波と反射波が打ち消しあってアンテナ性能を大幅に低下させてしまうのが原因です。T2FDは給電点の対称位置で終端することにより、反射波を抑え定在波を発生させないようにしているので共振周波数はありません。このことより進行波型アンテナと呼ばれることもあります。

弊社WA200シリーズもいわゆるT2FD型アンテナですが、最適な終端インピーダンスと独自のハイレシオバランの組み合わせにより、適度な反射波割合を持たせ、より使いやすく設計してあります。ダイポールアンテナと比較すると、ダイポールアンテナの共振周波数においては効率が若干劣りますが、共振周波数以外では圧倒的に優れた特性を持ちます。

WA201は、HF帯フルバンドが連続して送受信使用ができるので、世界中のHF業務無線局や通信社、官公庁等で使われています。1.8MHzから28MHzまで10のアマチュアバンド、その間に数多くある業務通信・放送バンド、一本のWA200シリーズで新しい世界にトライすることが出来ます。

型名	周波数(MHz)	耐入力	インピーダンス	V SWR	全長(m)	重量(kg)	同軸ケーブル
WA201	1.8~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 25	約 3.3	
WA201A	1.8~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 25	約 5.7	○
WA202	3.5(1.8)~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 15.5	約 2.5	
WA202A	3.5(1.8)~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 15.5	約 4.9	○
WA203	7(1.8)~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 8.5	約 1.8	
WA203A	7(1.8)~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 8.5	約 4.1	○
WA201F	1.8~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 15~25	約 3.3	
WA201FA	1.8~30	PEP 280W	50 Ω	2	約 15~25	約 5.7	○

※上記商品すべてロープ1.0mが2本と自己融着テープが付属されております。

※型名の最後にAが付くものは同軸ケーブル 5D-2V 30m 両端MP付が付属されております。

※（ ）内の周波数は使用可能な周波数です。

※WA201FおよびWA201FAは全長が約1.5~2.5mの間で自由設定可能なタイプとなっております。

全長設定の方法WA101Fと同じ方法になります。